

オーバーホール仕立てのエンジンでの参戦

前回のレースからテスト走行が出来ていなかった為、約2か月ぶりの走行となった。
エンジンもオーバーホールしたばかりなので前回より確実に上位を目指せる体制になった。
今回の目標を6位以上 タイムを1' 53" 00以下に設定した。

- 7月22日 ●フリー走行 1本目 9:05~9:35 天気 晴れ 路面状況 ドライ 湿度40% 気温25℃ 路温27℃
今回はセッティングが変更されており前回と同じ乗り方をしていたら、リヤがスライドして、まともに走行が出来なかった。そこで、色々と進入のライン、スピードなどを変えて試してみたが、どれも「しっくり」くるのは無かった。同時にブレーキに多少トラブルがあり攻めた走行はしないでラインの確認などに徹して終了した。
- フリー走行 2本目 11:30~12:00 天気 晴れ 路面状況 ドライ 湿度40% 気温25℃ 路温45℃
1本目で出たブレーキのトラブルも改善されたがたまに症状が出るため不安の残る状態で2本目が始まった。ここでNewタイヤと投入した。2本目で行った事は、リヤのダンパー調整、スタビライザーの調整など。2、3周走っては調整を行った。しかし、Newタイヤを投入したにもかかわらず大幅なタイムアップは無かった。
- フリー走行 3本目 14:50~15:20 天気 晴れ 路面状況 ドライ 湿度41% 気温25℃ 路温55℃
1、2本目に出ていたブレーキトラブルもパッド交換したらもっと良くなりトラブル症状減多に出なくなった。3本目も引き続きリヤのダンパー調整を行った。ダンパーの調整1つで100Rとセクター3での挙動が面白いくらい違い、走ってはピットインして調整していた。しかし、1本目から通してリヤの不安定感やブレーキングから旋回にかけての信頼感がなく、ココ・コーラコーナーも極端に減速しなければ曲がれなかった。他のコーナーも一緒に旋回中のリヤが巻き込みが激しく、なかなかスロットルの時間を短くし、アクセルを踏んでコーナーを脱出するために進入の角度を浅くしてボトムスピードを落とし鋭角なラインに変えてみたがタイムは、あまり変わらずにいた。途中でフロントのアップライト付近のトラブルにより3本目は10分弱を残して終了した。翌日のレースに不安が残ったままととなった。

- 7月23日 予選 (20分) 8:50~9:10 天気 晴れ 路面状況 ドライ 湿度22% 気温30℃ 路温28℃
前日に引き続き天候に恵まれたレース当日。結局リヤの不安定の原因は解決できないままだ。オンボード映像を見て、ステアリングの入力スピードが早い。と、コメントを貰い予選中に調整し、多少は改善されたが大幅な改善にはならなかった。予選では20分間のうちコースインしてからタイヤを温めて3周アタック、ピットインしてタイヤの内圧調整して3周アタックと決めていた。しかしピットアウトしてからミスが続きタイムの更新にはならなかった。前日からでている症状も改善されず、ストレスが溜まる一方の予選となった。

Best time 1' 55" 211 / グリッド 14 (24台出走)

決勝 (12周) 15:20~ 天気 晴れ 路面状況 ドライ 湿度25% 気温32℃ 路温61℃

1、2戦共にスタートは失敗しかしていないので今回は合いが違う。レースでは前に出たものが勝ち。スタートで抜かそうと考え、フォーメーションラップでリヤを入念に熱を入れスタートに臨んだ。レッドシグナルが消灯した。スタートのタイミングは悪くない。クラッチをミートした瞬間に若干、回転数が下がり過ぎたが問題なく1コーナーに進入し1台パスした。しかし、続くココ・コーラコーナーでインに並ばれ押し出されるような形で少しコースからはみ出て1台に抜かされる。この時点では順位が変わらず14位のままだ。2周目の1コーナーのブレーキングで並ぶも抜かせずそのまま前車に続いた。同じ周のヘアピンでインから抜こうとしたが、ラインを塞がれてしまい大きくスピードを落としてしまい車間距離が150mくらいひらいた。それから3周過ぎたころに前車が100でミスがあり一気にヘアピンで差が詰まった。同じ周のダンロップコーナーでブレーキング勝負をしポジションを13位にあげた。その後、後続車を離そうとするも一向にタイムが上がらずに2周が過ぎ、3周目に入ろうとする最終コーナーで痛恨のソフトミスにより軽々と後続車にパスされてしまう。猛ブッシュするが全体的なボトムスピードが低く差を詰めれずいた。その、2週後に最終コーナーで前日に出ていたブレーキのトラブルで止まりきれずに左側のタイヤがグラベルに落とし、結果スピンをしてしまった。そこからチェッカーまでは猛ブッシュで上がりすぎた水温を落とすためにショートシフトでマシンを労って順位のキープに入り、そのままチェッカーとなった。

最終順位 14位

総評 今回は全くレースが出来ていなかった。週末を通して良い方向に1度も進まなかった。セット変更にも戸惑いタイムが出せないドライバー自身の引き出しの少なさが露呈されてしまったと思う。エンジンもオーバーホールされたばかりで確実に前回のレースよりタイムが出せる環境にあったにも関わらず、Best timeが1' 55" 211と前回より約2秒も遅く致命的だった。前戦が調子良かっただけに、とても悔しいレースだった。今回の失敗を糧に次戦は自己ベストの1' 53" 853を更新して決勝レースでも入賞を目指したい。

中村監督コメント 前回の内容から新にクリアしなければいけない課題が出た。
次回はもう2秒縮める様努力致します。



Nankai Plan Co.,Ltd.



鈴木会計
埼玉・川口
http://www.tknf.com/sds

P PLUS

Moty's
HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY

SPN
SPEED PARK NIIGATA